

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【公表番号】特表2017-532396(P2017-532396A)

【公表日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2017-509725(P2017-509725)

【国際特許分類】

C 09 K 5/14 (2006.01)

【F I】

C 09 K 5/14 E

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月24日(2018.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

キャリアオイル、

分散剤、

スチレンポリオレフィンコポリマー、及び
熱伝導性粒子を含有する、熱伝導性クレイ。

【請求項2】

前記キャリアオイルは、炭化水素系キャリアオイル及びシリコーン油のうちの1種である、請求項1に記載の熱伝導性クレイ。

【請求項3】

最も大きい熱伝導性粒子が、約30～約70マイクロメートルのD50(体積平均)粒径を有する、請求項1に記載の熱伝導性クレイ。

【請求項4】

最も小さい熱伝導性粒子が、約0.5～約5マイクロメートルのD50(体積平均)粒径を有する、請求項1に記載の熱伝導性クレイ。

【請求項5】

最も大きい熱伝導性粒子が、約1～約3マイクロメートルのD50(体積平均)粒径を有する、請求項1に記載の熱伝導性クレイ。

【請求項6】

少なくとも約80重量%の熱伝導性粒子を含有する、請求項1に記載の熱伝導性クレイ。

。

【請求項7】

少なくとも1つの熱源、及び

前記少なくとも1つの熱源上の請求項1に記載の熱伝導性クレイを備える、電子デバイス。

【請求項8】

キャリアオイル、分散剤、スチレンポリオレフィンコポリマー及び熱伝導性粒子を提供することと、

前記キャリアオイルと前記分散剤とを混合して混合物を形成することと、

前記混合物中へ前記スチレンポリオレフィンコポリマーを混合してクレイを形成すること

とと、

前記クレイ中へ前記熱伝導性粒子を混合することと、を含む、熱伝導性クレイの製造方法。

【請求項 9】

最も大きい熱伝導性粒子が、約 30 ~ 約 70 マイクロメートルの D50 (体積平均) 粒径を有する、請求項 8 に記載の熱伝導性クレイ。

【請求項 10】

最も大きい熱伝導性粒子が、約 1 ~ 約 3 マイクロメートルの D50 (体積平均) 粒径を有する、請求項 8 に記載の熱伝導性クレイ。